

# 「聴いて・考えて・つなげる」通信



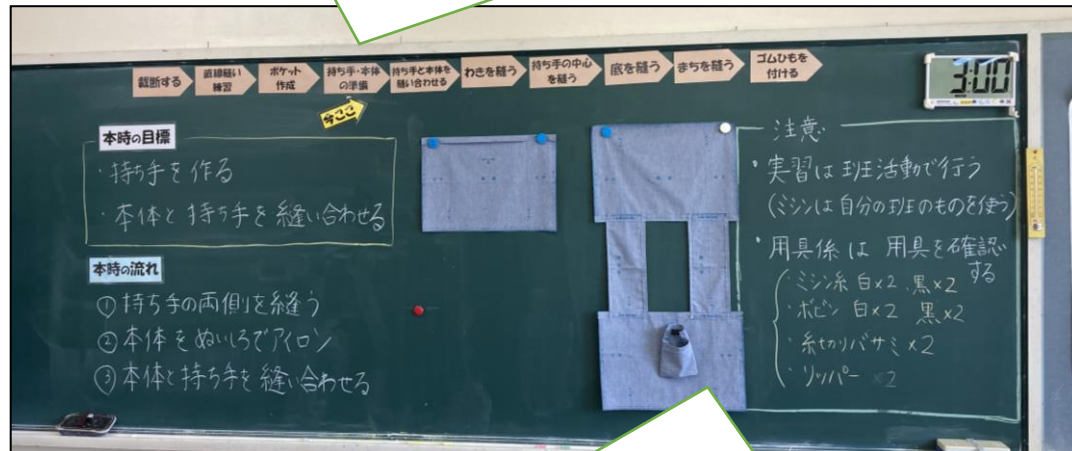
生徒に作品などの取り組みをさせるとき、一気にすべての流れを説明して、生徒がそれをしっかり頭に入れてやらなくてははいけないのですが、生徒の能力もあって、なかなか生徒の進度がそろわない。わかる子はどんどん進めるけど、分からない子は一人でこまっている。質問にくる子はいいけど来ない子はわからないまま進めていない。分からない子がバラバラに質問に来る。授業時間はバラバラの質問対応に追われる。もっといろいろ困ってることある！こんな経験をされている先生はたくさんおられると思います。もちろんその授業のねらいと進め方によってかわるのですが、家庭科ではそんな悩みを解決するべく、面白い取り組み方をされているので紹介したいと思います。

## 単元指導目標

エコバッグを作ろう。「作って楽しい布作品」

※制作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。

本時の目標以外に単元指導計画の中で今は何をしているのかを生徒に分かりやすく黒板に掲示しています。

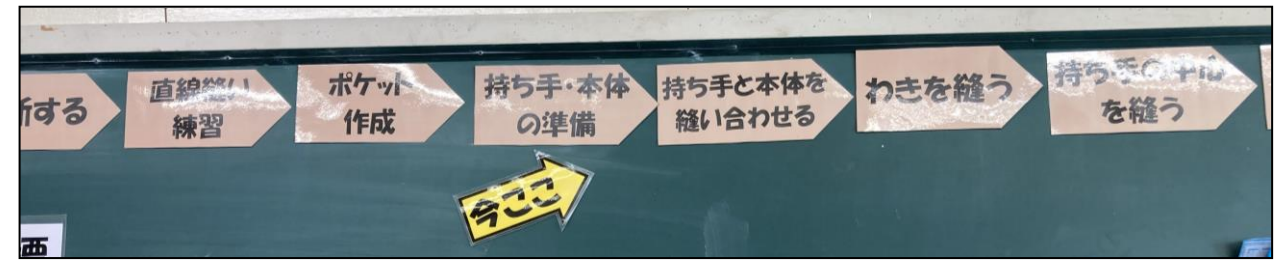


実物の見本を提示

(美術科、技術科の先生も同じようにされていました。)

実技教科の先生あるあるなのでしょうね。

「先生うまい！ さすがやなあ。」と生徒は言っていました。



進度表  
※班長は班員の進度をチェックし、ミシンを使う順番などを指示しよう！

班員の名前を書く					
①	ポケット部分の直線縫いの練習				
②	ポケット(水筒ホルダー)を作る				
③	持ち手の左右を折り、縫う				
④	本体の口の部分を折り、縫う				
⑤	本体と持ち手を縫い合わせる (B:内ポケットをはさむ)				
⑥	わきを縫う (C:水筒ホルダーをはさむ)				
⑦	持ちちを作る				
⑧	底を縫う				
⑨	ゴムひもをつける				
⑩	ボタン、スナップボタンなどをつける				

★進度表を個人で持って自己管理するのではなく班のメンバーで共有。

★班のメンバーの進捗状況が見えるので、お互いに分からないことを質問したり、助け合うことができます。

★役割分担を明確にして、分かりやすく表していることで誰に相談するかを考えられます。

★全員が実習にかかわれる工夫をします。

実習 係分担 ( ) 班 班長の名前は赤ペンで囲む

	材料係	用具係	ミシン係
1組			
2組			
3組			
4組			
組			

注1.班で協力して実習すること(班長は班員の進度をチェック！)  
注2.作業は自分の班で行うこと  
(他の班へ遊びに行かない、ミシンも自分の班のものを使う)

## 今回取材した家庭科の[ ]より

### Before

- 一つの作業をするのにどれだけきちんと説明しても、理解できていない生徒がいて、何度も同じ質問を個別に受けていた。
- 早くできる生徒、なかなかできない生徒の差が大きく、助け合うこともなかった。

### After

- 班のメンバー全員で協力することにより、理解できなかつたり、教師の説明を聞き逃した生徒がいても、生徒同士で教え合っていて解決できている場面が多くみられた。結果として教師はその他の注意や、もっと高度な説明をしたりできた。
- できた生徒ができていない生徒を教え合ったりするので、生徒間の進度がそろいやすく、次の作業の説明なども効率よく行うことができる。クラスによってはまだこちらを頼ってくることもあります。試行錯誤しています。